

# 平成24年度エコワット体験モニター 第1期集計結果

1 モニター期間 平成24年4月1日（日）～6月9日（土）

2 モニター世帯数 11世帯

3 モニター内容

家庭にある家電機器5種類（電気ポット、電気炊飯器、テレビ、電気冷蔵庫、普段よく使用する家電機器）について、始めの1週間はこれまでと同様の使い方【ステップ1】を、次の1週間は省エネを意識した使い方【ステップ2】をしてもらい、それぞれの使い方をした場合の電気料金、使用時間、使用電力量、CO<sub>2</sub>排出量を記録し、記録表の提出により、結果を報告してもらった。

ただし、電気ポット、電気炊飯器を使用していない世帯、提示した家電機器に取り組むことができない世帯については、その他家庭で使用している家電機器について取り組んでもらった。

4 集計方法

提出された結果は、実施期間が異なるものもあるため、すべて1週間（168時間）あたりに換算して集計した。

また、データについては、1つの家電機器につき「これまでと同様の使い方【ステップ1】」と「省エネを意識した使い方【ステップ2】」の両方に取り組んだ場合のみを使用し、片方のみ取り組んだ場合および両方とも取り組んでいない場合は総数から除外した。

5 集計結果

(1) 合計（1週間（168時間）あたり）

全体の削減効果は、11世帯、48台分の取組みで、電気料金871.8円、電力量45.2kWh、CO<sub>2</sub>排出量27.8kg-CO<sub>2</sub>の削減ができ、削減率は、12.9%であった。

1世帯あたりの平均では、4.4台に取組み、電気料金79.3円、電力量4.1kWh、CO<sub>2</sub>排出量2.5kg-CO<sub>2</sub>の削減となり、1年間継続して取り組むと、電気料金4,135円、電力量214kWh、CO<sub>2</sub>排出量130kg-CO<sub>2</sub>が削減できることとなる。

取組品目	取組台数	ステップ1:通常使用 (A)			ステップ2:節電使用 (B)			削減効果 (A-B)			電力量削減率 (%)
		料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	
電気ポット	2	184.8	8.4	4.7	168.0	7.7	4.2	16.8	0.7	0.5	8.3
電気炊飯器	4	268.8	12.4	6.8	201.6	9.2	4.5	67.2	3.2	2.3	25.8
テレビ	10	1,831.2	131.5	73.1	1,478.4	109.1	60.0	352.8	22.4	13.1	17.0
電気冷蔵庫	10	2,547.2	115.9	64.4	2,408.9	110.2	60.9	138.3	5.7	3.5	4.9
その他 ※	22	1,160.2	80.9	45.2	863.5	67.7	36.8	296.7	13.2	8.4	16.3
計	48	5,992.2	349.1	194.2	5,120.4	303.9	166.4	871.8	45.2	27.8	12.9
1世帯あたりの平均	4.4	544.7	31.7	17.7	465.5	27.6	15.1	79.3	4.1	2.5	12.9

※その他の品目の台数内訳

洗濯機	5	ストーブ	1	トースター	1
ホームベーカリー	1	DVDレコーダー	1	オーブンレンジ	1
コーヒーメーカー	1	冷凍庫	1	生ごみ処理器	1
温水洗浄便座	5	パソコン	1	合計	22
空気清浄機	1	ボイラー	2		

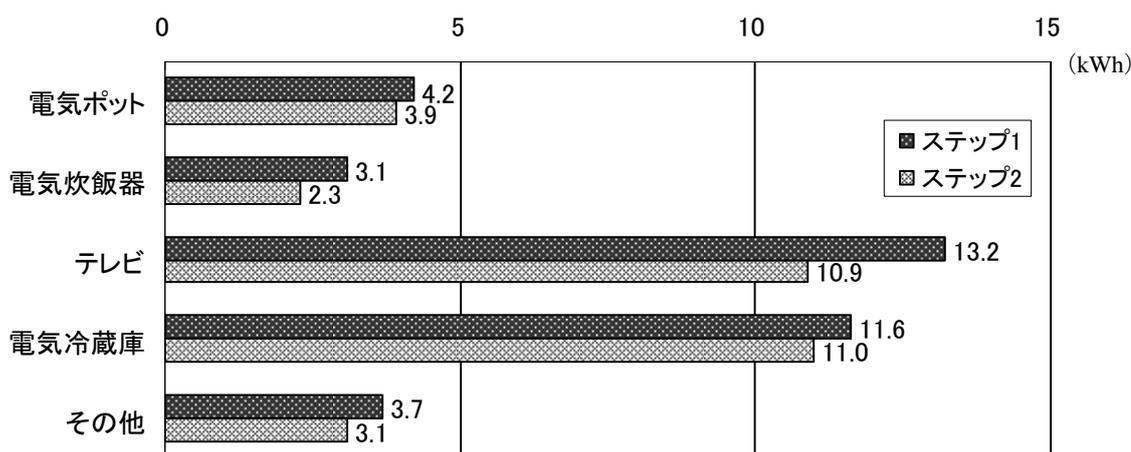
(2) 各品目の平均（1週間（168時間）あたり）

削減効果が一番高かった品目はテレビで、電力量35.3kWhの削減、一番低かったのは、電気ポットで8.4kWhであった。削減率は電気炊飯器が25.8%で一番高く、一番低かったのは電気冷蔵庫で5.2%であった。

5品目の平均では、電気料金17.5円、電力量1.0円、CO<sub>2</sub>排出量0.6kg-CO<sub>2</sub>の削減となった。

取組品目	ステップ1:通常使用 (A)			ステップ2:節電使用 (B)			削減効果 (A-B)			電力量 削減率 (%)
	料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	料金 (円)	電力量 (kWh)	CO <sub>2</sub> 排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	
電気ポット	92.4	4.2	2.4	84.0	3.9	2.1	8.4	0.3	0.3	7.1
電気炊飯器	67.2	3.1	1.7	50.4	2.3	1.1	16.8	0.8	0.6	25.8
テレビ	183.1	13.2	7.3	147.8	10.9	6.0	35.3	2.3	1.3	17.4
電気冷蔵庫	254.7	11.6	6.4	240.9	11.0	6.1	13.8	0.6	0.3	5.2
その他	52.7	3.7	2.1	39.3	3.1	1.7	13.4	0.6	0.4	16.2
5品目の平均	130.0	7.2	4.0	112.5	6.2	3.4	17.5	1.0	0.6	13.9

各取組品目の電力量平均



(3) 取り組んだ感想

- 日々、エコワットから電力使用量等の情報が直接確認できてよかった。  
我が家の冷蔵庫は1995年製で省エネ機能が低いと思う。ドアの開閉も以前より閉まりが悪くなり、50秒程開けっ放し状態になっていたことがあった。  
意識して節電したつもりだが、普段からアダプタータイプのコンセントを使い、すぐ待機電力OFFにしたりと気をつけていたので、さほどの大差が出なかったように思う。これからも使わない、必要ない時は、こまめにスイッチを切る等努力して節電していきたいと思った。
- 日頃から省エネを心がけてきたのでステップ1とステップ2で大きな差は出ていないように思ったが、エコワットを使ったことにより電気を使う物、あまり使わない物が分かったので省エネの夏に向けて電化製品をうまく使って節電を心がけていきたいです。
- テレビの消費電力が多い事が分かった。冷蔵庫のよく使う物を開き戸から引き戸の室内に移したが効果はなかった。冷凍庫は上部の開き戸なので庫内整理しないと物の出し入れに時間がかかり省エネ効果は少なかった。

- どの家電にいくら位料金がかかっているのかがわかり、とても参考になりました。少し気にするだけで目に見えて料金が少なくなったので、とても嬉しかったです。6月分の電気料金は先月に比べ1,845円も安かったです。この夏、エアコンにもエコワットを取り付けてみようと思います。冷蔵庫の時は、子供達に「早く閉めなさい」「何回も開けるんじゃない」と厳しくしすぎ、「怖いよー」と言われましたが、むやみに開けないことが当たり前になるまで子ども達に言い続けようと思います。暑くなったら水筒にお茶を入れ冷蔵庫を何回も開けないようにと考えています。
- 今まで電気がどのくらい使われているかなど意識していなかったが、エコワットを取り付けてみると、それぞれの家庭の電気料がはっきりとわかった。省エネを意識した一週間では、少しの工夫で全く違う数値になった。今回の経験をもとに、今後も節電の工夫をしていきたいと思った。
- どの電化製品もコンセントを抜くことで消費電力を少なくすることができますのでこの後も続けます。冷蔵庫の電気料は自分が工夫した取組みだけではあまり変化が無かったので、今後何か（カーテンを付ける等）工夫してみたいです。エコワットを今回試さなかった電化製品に取り付けて省エネに貢献したいです。
- 電気ポットは数年前からVEポット（電気で沸かしてまほうびんで保存）を使っているが、従来の使用法で良いことがわかった。電気冷蔵庫は昨年購入した機種であるが、旅行のため1.5日開閉しなくても大きな効果なし。温水洗浄便座、電動生ごみ処理器等のヒーターを使用している機器は通電時間を極力少なくすることがポイント。ただし、生ごみ処理器の運転回数を真夏に減らすことは、腐敗のため、困難かもしれない。テレビは待機電力が大きいので、主電源を切ることによる省エネ効果は大きいですが、電気店に聞くと主電源を切る操作による故障が発生し、修理代の方が高くつくとのこと。また、ソフトウェアの更新ができなくなる恐れがあるとのこと。見ない時は消すことと、画面の明るさ低減が良さそう。各機器の積算電力量の一般家庭の平均値を知りたい。又は今回テストの集計値も。
- 我が家は普段から節電に心がけておりますが、もっと社会も取り組んで欲しいです。